

見る。歩く。休む。瞑想する。ゆっくり禅を楽しむ体験。

神勝寺 禅と庭のミュージアム



Photo: Nobutada OMOTE | SANDWICH

このたび、広島県福山市の山間に佇む天心山神勝寺（てんしんざんしんしょうじ）に「神勝寺 禅と庭のミュージアム」がオープンしました。訪れる人がそれぞれのペースで歩き、休み、そして考える静かなひとときを見出すことがテーマの美術館です。

広大な敷地には、鎌倉時代などの古建築、復元された千利休の茶室、縄文建築で知られる建築家・建築史家の藤森照信氏設計による寺務所（松堂）などが点在し、建物間を結ぶように配置された庭園が人々の散策を促します。また施設のハイライトとして国内外で活躍する名和晃平 | SANDWICH 設計のアートパビリオン「洗庭（こうてい）」が誕生。現在においては希少な建築技術が駆使された迫力ある外観と類をみない内部空間を体験いただけます。

また、当ミュージアムは国内きっての白隠を中心とする禅画・墨蹟コレクションも見どころの一つ、定期的に展示替えされるコレクションをご覧ください。禅画、建築、アート、庭の鑑賞と共に現代における新しい禅体験の時間をお楽しみください。

神勝寺 禅と庭のミュージアム 概要

■所在地：〒720-0401 広島県福山市沼隈町大字上山南 91 ■アクセス：<http://shinshoji.com/access/#a01>

■拝観時間：9：00-17：00（最終入場は16：30まで） ■休館日：不定休

■拝観料：大人：1,200 円(1,000 円)/ 学生(高校生以上)：900 円(700 円)/ 中学生：500 円(300 円)※小学生以下無料※()は20名以上の団体料金

■公式ホームページ：<http://szmg.jp/> ■館へのお問合せ先：TEL 084-988-1111(寺務所)担当：山下

アドバイザー委員会

代表	神原 勝成	神勝寺責任役員
コミッティーメンバー (五十音順)	橋本 麻里 藤森 照信 名和 晃平 芳澤 勝弘	ライター・エディター、永青文庫副館長 建築史家・建築家・東京大学名誉教授・江戸東京博物館館長 彫刻家 花園大学国際禅学研究所顧問
事務局長	フェリエ 肇子	コーディネーター、プロデューサー、オフィスフェリエ代表

禅寺である神勝寺の境内に建つアートパビリオン「洗庭」。伝統的なこけら葺きを応用し、全体を木材で柔らかに包んだ舟型の建物が、石のランドスケープの上に浮かぶ。

物質感のある石の海を抜け、ゆるやかなスロープを上がり、小さな入り口から舟のなかへ入ると、暗がりの奥には海原が広がり、静かに波立っている。波間には、かすかな光が反射している。



【建築概要】 敷地面積：4700㎡ 建築面積：796㎡ 全長：46m 構造：鉄骨造 屋根：柿葺き 軒天井：サワラ材

Photo : Nobutada OMOTE | SANDWICH

【名和晃平 | SANDWICH 略歴】

名和晃平 彫刻家

1975年大阪生まれ。彫刻家。京都造形芸術大学大学院芸術研究科教授。

2009年京都・伏見区に創作のためのプラットフォーム「SANDWICH」を立ち上げる。2011年東京都現代美術館で個展「名和晃平・シンセシス」、2015年PACE LONDONで個展「FORCE」を開催。画素のPixelと細胞のCellを組み合わせた独自の「PixCell」という概念を機軸に、ビーズ、プリズム、発泡ポリウレタン、シリコーンオイルなど様々な素材とテクノロジーを駆使し、彫刻の新たな可能性を広げている。



Photo : Nobutada OMOTE | SANDWICH

SANDWICH Inc.

「SANDWICH」は京都・伏見の宇治川沿いにあるサンドイッチ工場跡をリノベーションして生まれた、創作のためのプラットフォーム。アート・建築・デザインなどの異なったジャンルのクリエイターが集い、新しい表現を繰り広げています。建築チームは名和晃平・李仁孝・古代裕一がディレクターとなり発足。コンテンポラリーアートを基軸とし、彫刻的な概念をポキャブラリーとして活かしながら、ソフトとハードを同時に立ち上げる空間表現の可能性を追求します。発案されたコンセプトやイメージを基に、設計チームがデジタルベースでスタディを重ね、さらに、素材や手法を開発する制作チームが創意工夫を加え、各チームが連動しながらプロジェクトが具現化していきます。スタジオには定期的に国内外の若手クリエイターが滞在。週末は美大生を巻き込んだプロジェクトが展開され、京都から世界へ新しい表現を発信し続けています。



Photo : Shungo Takeda

■ 建築、アートが一体となったアートパビリオン「洗庭（こうてい）」

SANDWICH 設計による、木材で包まれたワンマテリアルの舟型の建物とその内部の空間で、波に反射する光を体験する名和晃平氏による新作インスタレーション。

■ 白隠を中心とする 1500 点におよぶ禅画・墨蹟コレクション

1500 点におよぶ禅の書画コレクションの中から、江戸時代に斬新で特異な方法で禅を表現した白隠禅師の禅画墨蹟を中心に、随時 20~30 点が境内の諸堂に展示されます。(展示詳細は公式 HP にてご案内します) 展示内容は禅画研究の第一人者、芳澤勝弘氏(花園大学国際禅学研究所顧問)によって監修されます。

■ 藤森照信氏設計による寺務所「松堂」

縄文建築で知られる建築家・建築史家の藤森照信氏設計による寺務所 < 松堂 > は銅板屋根を特徴とし、土地を代表する樹木、赤松が随所に使用されたユニークな建物です。神勝寺のエントランスでもあり、内部では資料の展示、関連書籍やグッズ、お土産の販売を行っています。

■ 坐禅や写経の体験

雑念をなくし、心と身体を整え自分を見つめる禅修行体験として坐禅や写経の体験を行っています。

■ 雲水（修行僧）の饅頭や湯豆腐などの食事体験

天心山神勝寺では「神勝寺うどん」として臨済宗の僧堂（修行道場）で雲水（修行僧）が食べている形式の食事が体験できます。また、昨年からは茶房がある含空院で湯豆腐のお食事もお庭を鑑賞しながらお楽しみいただけます。



■ 浴室

浴室は禅宗寺院の伝統的な七堂伽藍建築(山門・法堂・仏殿・禅堂・庫裡・東司・浴室)の一つであり、建物内には跋陀婆羅菩薩(ぼたばらぼさつ)をお祀りしている。禅宗では「威儀即仏法」といい、日常の立ち居振る舞いすべてが修行の場であり、修行の上で「心」と「体」の垢を落とすという意味で、重要な役割を果たしている。この浴室は、国際禅道場における修行者の修行の場として建立されたものです。

■ 境内に移築・新設された門や塔、茶室などの建物

京都にあった旧賀陽宮邸の門を移築した総門をはじめ、鎌倉時代初期の名作、滋賀県大津市石山寺の国宝 多宝塔を模して建立された多宝塔（たほうとう）、鎌倉の臨済宗建長寺派大本山建長寺の中にある建長寺専門道場（修行道場）の坐禅堂を譲り受け移築再建された大徹堂（だいてつどう）、滋賀県 臨済宗永源寺派大本山永源寺より移築再建した建物含空院（がんくういん）などの古建築、また、建築家・中村昌生氏によって、表千家の名茶室、残月亭、不審菴およびその路地を、古図を基に再現された茶席秀路軒（しゅうろけん）、千利休が晩年に京都の聚楽屋敷に建てたといわれる一畳台目の茶室の復元など、広大な敷地の中には歴史的に見ても興味深い建築が巧みに配置されています。



200点を超える作品群を順次架け替えて展示する日本初の白隠専門の展示館「莊嚴」は、一般的には「寺の本堂などを仏像、仏具などで厳かに飾ること」とされています。しかし、正しくは「智慧や福德などの善美をもって、身やその住む国土を飾ること」(日本国語大辞典)です。

白隠は「仏国土には金銀で飾った壮麗な建物があるわけではない、仏国土は菩提心をもった菩薩によって莊嚴されるのだ」と言っています。白隠禅師の菩提心によって生み出された禅画・墨蹟が展示され、これを鑑賞する人々があらためて菩提心を喚起される空間、それが「莊嚴堂」です。

photo:Tsuneo Horiide



神勝寺 禅と庭のミュージアム オリジナルグッズ

プロデュース：オフィスフェリエ

[ピエール・エルメ・パリ × 名和晃平 | SANDWICH]

ケーキ テーブル エユズ (2個) + フィナンシェ ナチュラル (3個)

名和晃平 | SANDWICH デザインによる美しいシルバーの箔押しプリントの箱の中にピエール・エルメ・パリの焼き菓子が並んでいます。庭園の緑がスライスされたような「ケーキ テーブル エユズ (抹茶と柚子のパウンドケーキ)」と その形が奇しくも洗庭に似ている事から選ばれた「フィナンシェ ナチュラル」の詰合わせはミュージアムのために作られたオリジナル。世界のパティスリー界を先導するピエール・エルメ・パリと名和晃平 | SANDWICH による特別なコラボレーションボックスです。



[かみ添 × 名和晃平 | SANDWICH]

小判唐紙、グリーティングカード、ポチ袋

京都・西陣の工房「かみ添」と名和晃平 | SANDWICH とのコラボレーションから生まれた繊細な紙のクリエイション。洗庭の柿葺きの屋根、内部のインスタレーションの波の揺らぎと淡い光、そしてランドスケープの岩々をモチーフとした版木から、型押しという古典技法を用いて一枚一枚丁寧に手で摺られたものです。



[洗庭オリジナル懐紙]

ミュージアムのロゴは、舟にも似た洗庭の建築のかたちとインスタレーションの波間に反射する光、そして庭園の小道などをモチーフとして生まれました。また目を凝らしてよく見ると ZEN という文字が隠されている事にも気づきます。UMA/design farm によるウィットに富んだロゴマークが控えめに白く浮かぶ懐紙です。